

朝倉駅周辺整備事業 北街区の整備方針（案）のパブリックコメント実施結果

- 1 実施期間 令和8年3月26日（木）～4月27日（月）
- 2 意見の提出方法 書面で直接、郵送、ファックス又は電子メール
- 3 意見の提出者数 5人（24件）

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。引き続き、本方針に基づき持続可能なまちづくりを進め、商業・交流・にぎわい拠点の形成に向けて取り組んでまいります。

No.	整備方針頁	質問・意見内容	市の考え
1	5	イベントでのアンケートを求めているので、イベントに来て過ごしたいというご意見が多いのは当たり前ですが、イベントがいつもあっても人は来ないと感じています。2位以下のニーズは日常に寄った回答かと感じましたが、その中で「図書」という比較的静かに楽しめる日常的なもので、知多半島の他の自治体にはないものを取り上げられたことを嬉しく思っています。海が望める場所で読書を楽しめたり、サンセットを楽しめたり…自然の中でゆっくり過ごせる場所になればとも感じています。（本の保管などは日に弱い部分もあるので難しいとは思いますが、あくまでも読む場所として）	北街区では、イベントの開催を求めるニーズが高いことから、定期的にマルシェやキッチンカー出店等のイベントを開催し、来訪者同士やそれぞれの施設が繋がることで、にぎわいの創出を目指しています。また、日常的なにぎわいの創出のため、図書と交流をテーマとした施設や商業施設は、用途に応じて自由にくつろぐことや気軽に足が向く施設になるよう努めていきます。
2	5、9	市民等のニーズの検証の中に、コンビニやスーパーを求めるご意見が多くあったように思いますが、この場合のコンビニ・スーパーは大型店ではなく、市役所を利用する際に「ちょっと調達する」レベルのものと感じました。	いただいたご意見のとおり、商業施設に関するニーズは、駅周辺で働く人や周辺の文化・スポーツ施設の来訪者が気軽に立ち寄れる飲食・物販等を求めるものが多くありました。今後もニーズの実現に向けて事業を推進していきます。
3	8、9	温浴施設のニーズが高い部分については、運動した後にシャワーを浴びてから帰りたいというニーズはとても多いと思うので、利用者にアンケートをとるのも良いのではと感じます。鉄鋼業で高い熱が発生するエリアというのをうまく活用して、エネルギーにコストがかかる部分をなんとかできないかとも感じています。地場産業なので、交渉の可能性はあると感じました。	いただいたご意見のとおり、北街区の周辺には、スポーツ施設が集積しており、大きな集客力があります。それらの施設と連携を図り、回遊性を創出することが、にぎわいづくりに効果的であると考えており、周辺に立地する施設の利用者が北街区に望むイメージを検証したうえで、整備方針に反映しました。
4	8、9	朝倉駅付近にはオーシャンズ関連、サッカー場、体育館、マリンプラザなどスポーツ関連施設が密集していますので、汗を流す温泉や健康ランドみたいな所もあると需要あると思います。（高齢者も多いですし）（東海市、大府、常滑、半田、阿久比にはありますが、知多市には温泉施設1つも無い）毎回近隣に訪っております。	北街区の周辺には、スポーツ施設が集積しており、大きな集客力があります。それらの施設と連携を図り、回遊性を創出することが、にぎわいづくりに効果的であると考えており、周辺に立地する施設の利用者が望む施設の整備に努めていきます。

No.	整備方針頁	質問・意見内容	市の考え
5	10	<p>ヒアリング・ワークショップの意見概要の①～③について出ている意見はとても良いと感じます。</p> <p>知多市だけの消費ではなく、市外からの流入を増やして「外貨を稼げる商業施設」となっていたら嬉しいです。（外国という意味ではなく、市外のお金を落としてもらう場所という意味です。）</p> <p>知多半島に移住してきて良いと感じていることは、適度に都会（名古屋）が近いこと、緑が豊かで農作物・畜産物・海産物と網羅され、知多半島だけで地産地消が可能なことにあると感じます。食品が美味しく鮮度が高いことで、住まう人々の顔色がいいと感じました。</p> <p>また、知多市は特に地元以外から移住してきた人に対してアレルギーがなく、広く受け入れてくれるという感覚があります。外国の方も多くお住まいということもあるので、図書を中心にすることで学びを深められる場所になると、人としての素養の底上げができる地域になるのではと感じています。</p>	<p>商業施設は、地元食材や特産品の販売を通じて、知多市（ローカル）を感じることができる施設、朝倉駅周辺で働く人や周辺の文化・スポーツ施設の来訪者が立ち寄り、楽しむことができる施設の誘致に努めていきます。</p> <p>市民や来訪者が北街区で知多市（ローカル）を感じることで、愛着と誇りを持つことができるエリアとなるよう整備を進めていきます。</p> <p>また、学びに関する事項については、今後の施設整備の参考にさせていただきます。</p>
6	15～17	<p>知多市に住みたくなるような、またきたくるような施設が欲しいです。</p> <p>活気をつくるには子育て世帯増加や人口を少しでも増やせるような建物が必要だと感じます。</p> <p>人口規模が違うのでなんともいえませんが、雰囲気的には千葉県の流山市おたかのもりみみたいな感じだとおしゃれですし、子育て世帯が好きそうな感じがします。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、「暮らしを楽しむ、緑園都市の憩いの場」の基本コンセプトをもとに、子育て世帯をはじめとした、市民の多様なニーズに応えられる拠点整備を目指し、努めていきます。</p>
7	16	<p>資料16ページの図書と交流をテーマとした施設については、図書×飲料や、図書×音楽などのイベントを検討してはどうですか。その一環で、勤文よりも敷居の低い「街角ピアノ」の設置を検討してはどうですか。</p> <p>一方で、ある程度静謐を求める利用者も考えられるため、壁等の仕切りを将来的に増やすことも想定しておいてはどうですか。利用が始まらないと利用者の求める交流とくつろぎのバランスは見えにくいと思います。</p> <p>また、既存の図書館との連携活用(図書と交流施設をきっかけに、より深く知りたくなった時のために、貸出返却がこの施設できたり、コラボイベントを組んだり、公共交通を案内することによる誘導を行ったり)も考えてほしい。</p>	<p>図書と交流をテーマとした施設は、本を「きっかけ」や「手段」として、誰もが居心地の良さを感じられる施設、様々な目的を持った利用者が同じ空間で過ごすことでゆるやかな交流が生まれる空間として、自由にくつろいだり、会話や交流を楽しむことのできる施設の実現を目指していきます。</p> <p>いただいたご意見は、今後の施設整備の参考にさせていただきます。</p>

No.	整備方針頁	質問・意見内容	市の考え
8	16	<p>図書と交流をテーマとした施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館は駐車場が近くの方が良い。本が重いのと雨に濡れてしまう。 ・ 図書館は子どもと学生が集まるので高齢の方も一緒に過ごせる公民館も一緒にして交流が生まれると良い。 ・ 学生はオシャレな空間が好きなので、窓を大きくしたりドリンクスタンドや観葉植物などで雰囲気良く。 <p>※関連資料を意見表の末尾にまとめて掲載</p>	<p>図書と交流をテーマとした施設は、本を「きっかけ」や「手段」として、誰もが居心地の良さを感じられる施設、様々な目的を持った利用者が同じ空間で過ごすことで緩やかな交流が生まれる空間として、自由にくつろいだり、会話や交流を楽しむことのできる施設の実現を目指していきます。</p> <p>いただいたご意見は、今後の施設整備の参考にさせていただきます。</p>
9	16	<p>近隣市町村から人を集められるような屋内型あそび広場</p> <p>知多市は屋外は遊べる場所がありますが、雨降ったときに何もないので、子供用の流れるプールだったり、遊具など遊べる場所（イオンの中にあるようなボールプールや滑り台など）</p>	<p>屋内型あそび広場は、「天候に関係なく、安全で、成長段階に応じた遊びが楽しめる施設」や「子育て世代を中心として、交流とにぎわいが生まれる場」を実現して、市内外からも子育て世代が訪れたいような施設の整備に努めていきます。</p>
10	16	<p>子育て中の身としては、未就園・園児・小学生…と、利用できる年齢が分かれていますと兄弟で利用しにくいという難点があるので、全国的には減っていつてしまっている児童館の役割を果たしてもらえそうなオープンエンドな遊び場であるといいなと感じます。</p>	<p>屋内型あそび広場は、子どもが発達段階に応じて多様な遊びができるとともに、死角の少ない空間づくり等に配慮し、保護者が子どもを見守りながら安心してゆったりくつろぐことのできる施設整備を目指していきます。</p>
11	16	<p>資料16ページの屋内型遊び広場については、新庁舎等の公共施設の近さを活かし、気軽に子育てに関する相談をしたり、支援を受けられたりする機能ももたせるのはどうですか。</p> <p>また、東海市が旧市民プールの建屋を活用した屋内型遊び施設を計画しています。そちらの情報も収集し、知多市の施設が後発となると思いますので、その利点を生かして東海市に足りないものを備えた施設としてほしい。</p>	<p>屋内型あそび広場は、整備方針において「天候に関係なく、安全で、成長段階に応じた遊びが楽しめる施設」とともに、「子育て世代を中心として、交流とにぎわいが生まれる場」と示しています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の施設整備の参考にさせていただきます。</p>
12	16	<p>屋内型あそび広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 赤ちゃんから3才くらい限定で安心して遊べる場所 ・ 雨の日や外あそびに飽きた子どもたちに工作室（有料）で遊べる（子ども未来館）（おじちゃん、おばちゃんボランティアお手伝い） ・ 円形の内側がガラス張りで見ている子どもを見られる（大府のすくすくの丘参考） ・ レンタルキッチンで料理教室や親と子の借りられる空間 <p>※関連資料を意見表の末尾にまとめて掲載</p>	<p>いただいたご意見のとおり、屋内型あそび広場は、「天候に関係なく、安全で、成長段階に応じた遊びが楽しめる施設」や「子育て世代を中心として、交流とにぎわいが生まれる場」として、子どもが思いっきり遊ぶことができ、保護者同士の緩やかな交流が生まれ、ゆったりとくつろげる広場の整備に向けて検討を進めていきます。</p>
13	16、17	<p>商業施設へのチャレンジ出店などは知多市の事業主を優先して欲しいとは思っているものの、出店料に差をつけたり、申し込みのできる回数やタイミングの制限などをかけつつも、知多半島全域から名古屋など、県内で広く利用いただくことで他の自治体とは違った取り組みができるのではと感じました。</p> <p>中央図書館の取り組んでいる多読英語や調べ学習などが、知多市にとどまらず、アクセスのいい朝倉駅周辺から発信されることで知多半島全域が良い街になることを期待しています。</p>	<p>日替わりのチャレンジ出店等が可能なスペースは、図書と交流をテーマとした施設内での整備を目指しています。</p> <p>いただいた、出店条件等に関するご意見は、施設運営を検討する際の参考にさせていただきます。</p>

No.	整備方針頁	質問・意見内容	市の考え
14	16、17	カフェにおいては、知多市の特産品を使った定食やドリンクの提供があったり、道の駅ではないにしろ、農作物・畜産物・海産物ともに鮮度の高いものを購入できるような仕組みがあると良いと感じます。（JAの販売所のような感じがあるといいと思います）POP UP SHOPやイベントは個人的に事業として取り組んでいますが、計画と運営はとても大変です。この取り組みを回せる事業者が必要だと思います。	いただいたご意見は、今後の施設整備の参考にさせていただきます。
15	17	他の近隣市町村にあるような商業施設 商業施設では、ダイソーや西松屋、バースデー、ドンキホーテ、シャトレゼ、サイゼリアなど普段使いでも重宝されているお店など 駅前なのでちょっとしたショッピングモール、近隣市町村県外から知り合いが来たときに飲食（チェーン店少ないです）やショッピングできる場所があると嬉しいです。	商業施設は、駅周辺で働く人や周辺の文化・スポーツ施設の来訪者が気軽に立ち寄れる飲食・物販等のニーズの高い施設を誘致するとともに、地元食材や特産品の購入といった、暮らしの質を高めることができる場となるよう、努めていきます。
16	17	資料17ページの商業施設については、屋内型遊び広場が隣接することや、知多市内に類似店舗が少ないことから、ベビーキッズ用品の店舗を含むようにするのはどうですか。隣接する図書と交流施設や、屋内型遊び広場、オープンスペースにおいて、商品の試用、試遊ができるサービスを行うなど、近隣施設との相乗効果によってコト消費とモノ消費が結びつき、子育て世代にとって北街区を訪れる動機になると思います。	いただいたご意見のとおり、北街区の基本コンセプトを共有できる事業者との連携を図ることにより、子育て世代に選ばれるにぎわいづくりを推進します。
17	17	商業施設 ・室内は高齢の方から小さい子まで好まれるもの飲食店 うどん、ラーメン、パスタ、オムライス、パン屋、ドリンク&スイーツ ・太田川駅のような飲み屋街にしない 子ども、親、高齢者の空間 ・大きな商業施設が入ると駅前の雰囲気、イメージが商業施設そのものになってしまい、知多のイメージが無くなってしまう。住んでいる人がほっと出来るような駅になって欲しいです。 ※関連資料を意見表の末尾にまとめて掲載	いただいたご意見のとおり、商業施設は、地元食材や特産品など、知多市（ローカル）を感じることができる施設を誘致するとともに、朝倉駅周辺で働く人や周辺の文化・スポーツ施設の来訪者が立ち寄り、楽しむことができる施設の誘致に努めていきます。 また、市民や来訪者が北街区に愛着を持つことができるようなエリアの整備を進めていきます。

No.	整備方針頁	質問・意見内容	市の考え
18	17	資料17ページのオープンスペースについては、マルシェやイベント等を行うのであれば、ステージ状の設備や、簡易な音響設備が可能につくりとするのはどうですか。また、可能であればステージだけでも雨がしのげる天幕等があるとよいと思います。	いただいたご意見は、今後の施設整備の参考にさせていただきます。
19	17	オープンスペース ・建物の高さがなく、開けた空間 ・春から9月くらいまで遊べる噴水 ・駅前マルシェは必要ない。基本車社会なので、梅の館と旭公園が知多の自然&マルシェの場所に最適と思う。ミニマルシェ、小規模の障がいのある方の手づくり品、地元の人の手づくり品を売れるマルシェ開催 ※関連資料を意見表の末尾にまとめて掲載	いただいたご意見のとおり、オープンスペースは、「北街区を訪れた人と施設をつなぐ多目的空間」や「来訪者同士をつなぎ、多世代がくつろぐことができる広場」としてキッチンカーの出店やマルシェ等のイベントの開催に対応した空間の実現を目指していきます。
20	19	資料19ページでは、「大田朝倉線からの見え方」に言及がありますが、現在の食堂等は北街区のほぼ中央の平屋であり、コンバージョンを行っても「見え方」は難しいものがあるのではないのでしょうか。コンバージョンを前提とするなら、「見え方」は商業施設や屋内型遊び広場に譲ってはどうか。	図書と交流をテーマとした施設の施設規模については、商業施設との回遊性の強化をはじめとする施設配置や大田朝倉線からの見え方、建築費の高騰を踏まえた整備手法など、様々な視点から検証を行っています。コンバージョンについては、サウンディング等の調査結果も踏まえ、市の意向やメリット等を反映しながら、検討していきます。
21	24	資料24ページで、旧庁舎の解体について、令和9年度中の着手とされています。大型の公共施設の建設だけでなく解体も、数十年に一度の出来事です。解体前に、大いに旧庁舎を活かしてから解体してほしいと思います。具体的には、旧庁舎の調度を活かしたマルシェや、落書きや破壊を伴う「やっちゃいけないけどやりたい」をかなえるイベント、廃墟を活かしたサバイバルゲーム、また、消防・救急隊による訓練などです。各種イベント等には、解体前の時期限定の体験ができる体験型ふるさと納税を絡めるのもいいと思います。	本事業では、本市の玄関口にふさわしいにぎわいを創出し、その波及効果により、市全体の活性化につなげる役割を担っていることを踏まえて、整備の早期実現を重視しています。いただいたご意見は、北街区のにぎわいづくりを進める中で参考にさせていただきます。
22		ただでさえ人口減少社会なので、他の近隣市町村に少しでもお金や現役世代が流出しないような取組が大事だと思います。	いただいたご意見のとおり、「暮らしを楽しむ、緑園都市の憩いの場」の基本コンセプトをもとに、市民の多様なニーズに応えられる拠点整備を目指し、努めていきます。

No.	整備方針頁	質問・意見内容	市の考え
23		<p>「北街区」開発への提言 北街区に、「竹林」というテーマで様々な竹を植栽することを提案します。コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻による輸入品の高騰、令和の米騒動、そして今般の石油危機。肥料や農薬の高騰。プラスチック依存に対する問題意識の高まり。地球温暖化による気候変動。今後ますます深刻さの度合いを高めていくでしょう。水不足も現実味を見せ始めています。テクノロジーの発達をもたらすマイナス面が、様々な分野で不都合な問題を引き起こしています。それらと相俟って、高齢化と少子化は人口減を伴って深刻な未来を暗示しています。</p> <p>未来を考える場合、これらのことに目をつぶることはできません。過去の繁栄や恩恵に依存することは、時代の先取りどころか過去に逆戻りにすることに他なりません。100年先のことを考えて最もふさわしい理念を、そして哲学を持って計画立案するべきだと思います。</p> <p>農業では自然農法に注目が集まって来ています。江戸時代には完成されていた「不耕起、無施肥、無農薬」の農法でちゃんと米が作れることが、40年も前から分かっているその分野の関係者たちはこぞって調査し、その実効を確認しています。それが分かっているながら実際には実現していないのは、既得権と利害日本人の良いところでもあり悪いところでもある、無難な方向へ向くスタンス。前例から外れることをよしとしない国民性。国の方針に逆らうことは大変なことですが、一部の地方行政は改革こそが本当の使命だと、認識した上で哲学を持って果敢にチャレンジしています。</p> <p>竹はとても豊富なポテンシャルを持っています。AIで検索すればその計り知れない能力が多様な分野で見ることが出来ます。そのごく一部。</p> <p>「驚異的な成長速度と再生能力で、竹は世界で最も成長の早い植物の一つであり、数ヶ月で成竹します。森林の木材が収穫までに数十年かかるのに対し、竹は3～5年で持続的に収穫できるため、森林破壊を防ぐ素材として期待されています。」</p> <p>*環境改善・カーボンニュートラル：竹は二酸化炭素（CO2）の吸収能力が非常に高く、一般的な樹木に比べて約2倍のCO2を吸収するとされています。また、地下茎で増殖するため、一度伐採しても植え替えの必要がなく、土壌流出を防ぐ効果もあります。</p> <p>*素材としての多様な機能性高強度・軽量：「植物の鋼鉄」とも呼ばれるほど強度が高く、木材の代わりとして住宅建設や家具に利用可能です。</p> <p>*抗菌・消臭：天然の抗菌物質を含んでおり、衛生用品や衣類（竹繊維）に適しています。</p> <p>*環境に優しいプラスチック代替品：竹のパルプや粉末を利用し、プラスチックの代わりに竹ストローや竹容器などへ加工する技術が進化しています。バイオマスエネルギーの原材料成長が速く収穫量が多いため、バイオ燃料の原料としても期待されています。</p> <p>まだまだ、ここには書ききれないほどの様々な有効的な特徴を備えています。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、植栽については、オープンスペースの整備方針に記載しており、来訪者がくつろぐことができるよう、植栽や芝生等の緑を活かした開放感のある景観の形成を目指します。ご提言の内容についても認識しながら、今後の事業化の参考にさせていただきます。</p>

No.	整備方針頁	質問・意見内容	市の考え
		<p>成長（再生）の早い常緑の竹。柔軟でありながら強靱な竹。種類も豊富で、その姿にもバリエーションがあって多様な表情を見せてくれます。成長・再生のシンボルとして、SDGsの理念にも合致する要素を内包しています。緑園都市を標榜する知多市の顔として、これほどピッタリなものは無いと思います。成長と繁栄。再生と更新。持続的若さの象徴。固定概念からの脱却。常緑と節操、清廉と誠実。簡潔と独自性。精神性、人間性を重視した、東海市と常滑市には無い唯一無二の理念のもとに据え得るもの。</p> <p>北街区一帯を竹林とみなし、竹林の中に施設が点在するイメージ。ある程度の面積にまとまって存在することが重要です。その中を散策するように遊歩道を設ける。防犯上、死角を極力無くして防犯カメラを目立たないように設置する配慮は必要でしょう。足元には夜間照明を設置し安全性も確保する。</p> <p>メリハリをつけた配置によって、朝日、夕日、雨の日、晴れた日、それぞれの状況で趣が変わります。風が吹けばさわさわと音を立て、竹に光が当たれば輝きを増す。木漏れ日が1/fゆらぎを見せて、リラックス効果を生む。</p> <p>春には筍掘りも出来るし、流しそうめんなどのイベントも面白いでしょう。岡田では竹林の中に散策路が作られていますし、旭公園には有志が整備している竹の道があります。知多市内には手入れの出来ていない竹林が幾つもあります。荒れた竹林を整備し、市と民間がタイアップして、竹の魅力を体験するイベントをする。例えば、竹林で野点をする、本の読み聞かせをする、オリエンテーリングやスタンプラリーをする、竹の伐採をイベントにするなど、さまざまな可能性をもっていると思います。</p> <p>各種イベントには竹を使うことを推奨することで、竹の魅力を再認識することも出来るでしょう。自然からますます遠ざかっていく人類ですが、植物と共存しなければ生きていけない動物です。太古から身体に刻み込まれている感性を引き出すものとして、竹は幅広く活用できます。未来の、あるべき社会への指針として、竹の持つ可能性に託してみませんか。</p> <p>*マダケ「苦竹・真竹」（キンメイチク、ギンメイチク） *モウソウチク「孟宗竹」（キンメイモウソウチク、キッコウチク、アケボノモウソウチク、ヒメアケボノモウソウチク） *ハチク「淡竹」（ヒメハチク、キンメイヒメハチク、クロチク、ホテイチク、キンメイホテイチク、ギンメイホテイチク） *メダケ「女竹」、*シホウチク「四方竹」、*トウチク「唐竹」、*クマザサ「隈笹」、*チシマザサ「千島笹」、*ミヤコザサ「都笹」などがあります。</p> <p>「若竹の杜」より (https://www.wakayamafarm.com/竹の品種)</p> <p>朝倉駅に降り立って、知多市の玄関である駅前には植栽がほとんどありません。冬は北西の風が吹き曝し、夏は照りつける猛暑とアスファルトの反射が容赦ありません。これでは今後ますます厳しくなるであろう気候にはなすすべもありません。来訪者に、ちょっとガッカリさせてしまうのではないのでしょうか。</p>	

No.	整備 方針頁	質問・意見内容	市の考え
		<p>駅から北街区の文化・スポーツ施設に向かうとき、最初に目に飛び込んでくる竹林。駅前とは打って変わった緑あふれる空間が広がってれば、その印象はインパクトがあるでしょう。それはとても重要なものだと思います。市の中核となるところに竹林がある驚き。どこにでもある風景ではなく、竹林が風にそよぎさまざまな表情を見せている。</p> <p>春はウグイスが鳴き、若竹が瑞々しい姿を見せる。日に日に伸びてゆく若竹と、竹の秋という季語の風情を眺める。カンカン照りの夏は、背の高い竹が日差しを和らげてくれる。秋から冬にかけては、葉の少ない竹林に日が差しして柔らかい光を反射している。</p> <p>もちろん、随所に桜や梅の木などをあしらってアクセントを付けることも必要でしょう。ベンチを設けて「サードスペース」の一部とし、散策の出来る曲がりくねった道が広場に通じ、駐車場や各施設へのアプローチともつながっていく。新庁舎とのつながり方も重要になるでしょう。</p> <p>管理は、根が外へ伸び出ていかないようにすること、適宜に間引くことで済み、樹木よりも容易にできるものと思います。100年単位で考え、10年に一度植え替え更新するなど、長期的に継続していくことを前提として、立案・計画されるべきと思います。</p> <p>単なる思い付きではありません。公共施設はどの地方でも建物に特徴があっても、同じ木が植えられなくなっています。その市町村の想いが感じられるものは少ない。計画・設計の理念がよく分かりません。知多市は東海市や常滑市のような財力がない中で、如何に存在感を演出するか。如何に市民の心に訴え納得されるものにするか。既存のものや、前例を土台にして継承するものでは新しい時代に対応できないでしょう。</p> <p>奇をてらったものではなく、今まで無かったまったく新しい考え方のもので、資金もそれほどかからず管理も容易で、持続性があるもの。ずっと考えていたものです。</p>	

